

環境に係る情報協議会

国営水利システム再編事業 共栄近文二期地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「旭川市田園環境整備マスタープラン」及び「鷹栖町農村環境計画」から）

【現状】

旭川市

旭川市は、石狩川・牛朱別川・忠別川・美瑛川の四大河川を中心とする大小の河川が流れており、「川のまち旭川」と呼ばれている。

これらの河川は、市内を取り巻く緑豊かな丘陵地や大規模な公園、緑地等とともに緑の骨格を形成しており、旭川市では、河川緑地の整備や堤防並木の造成のほか、近（多）自然型工法による河川整備など、潤いと安らぎのある「緑のネットワーク」の形成に努めている。

鷹栖町

河川の水質悪化・護岸整備等で魚類・昆虫類等多種多様な生態系が失われつつある。自然豊かな農村地域で昔は多種多様な動植物が生息していた。

【課題】

旭川市

多様な生物が生息・生育する水辺を保全するとともに、豊かな自然と調和した水辺の創造と、市街地周辺に広がる農地の保全をする必要がある。

鷹栖町

オサラッペ川のさらなる水質浄化を含めた自然環境の保全
生態系の多様性など自然環境の保全、稀少動植物の保全

《環境保全の基本的考え方》（「旭川市田園環境整備マスタープラン」及び「鷹栖町田園環境マスタープラン」から）

旭川市

用水路・道路等の農業基盤整備にあたって、農地・草場が多様な生物の生息・生育空間となるよう周辺の自然環境の保全、創造に努める。

田園環境の保全に努めるとともに、開発行為や施設整備にあたっては、周辺の田園環境との調和を図るように努める。

鷹栖町

自然生態系や自然浄化力の向上に配慮した河川や農業用排水路の整備改修を目指します。

2. 環境配慮のための環境調査

《基本方針》

調査位置の考え方

本地区の自然環境は、大きく分けて以下のように分けられる。

- ・地区を囲む森林地帯に隣接する区域
- ・溪流河川が流れる農地

整備構想において、地域環境に影響を与えるのは用水施設の改修・新設・撤去である。

調査項目の考え方

本地区を南北に縦断するオサラッペ川中下流部は、既往調査結果があることからこれを活用する。

北部の森林地帯に隣接する区域で用水路の改修を行う区域、溪流河川が流れる農地で用水路を新設する区域及び既設頭首工を撤去する溪流河川上流部は既往調査がないことから必要な項目について調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目

- ①哺乳類 ②鳥類 ③魚類 ④両生・は虫類
⑤昆虫類 ⑥底生動物 ⑦植物 ⑧水質

○調査方法

- 哺乳類：目撃法、フィールドサイン法
鳥類：ポイントセンサス法
魚類：採捕調査
両生・は虫類：目撃法、フィールドサイン法
昆虫類：任意採集法、バイトトラップ法、ライトトラップ法
底生動物：定性採集法
植物：植物相調査
水質：SS、濁度